

キトサンで胆汁酸ダイエット ～胆汁酸吸着レジン(樹脂)の性質を持つキトサンの作用～

キトサンの抗メタボリック・シンドローム効果

生活習慣
(エネルギー過剰)

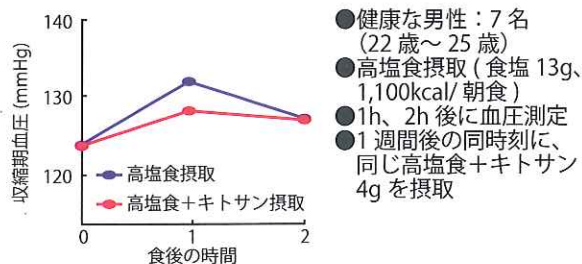
内臓脂肪
蓄積型肥満

- 脂質異常
- 高血圧
- 高血糖

- 高脂血症
- 高血圧症
- 糖尿病

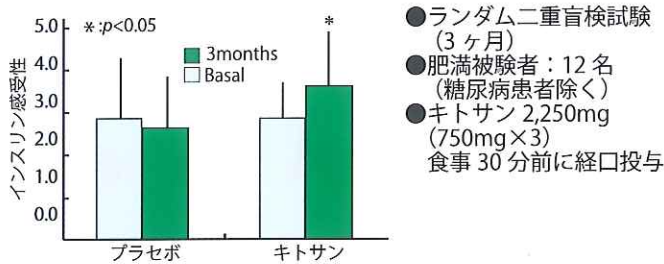
動脈硬化
(血管の老化現象)

血圧に対する作用¹⁾



キトサンは、血圧の急激な上昇を押さえた

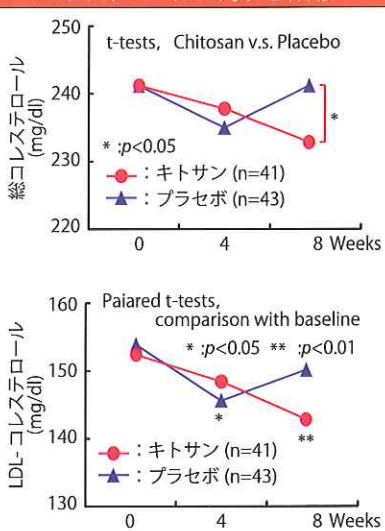
インスリンに対する作用²⁾



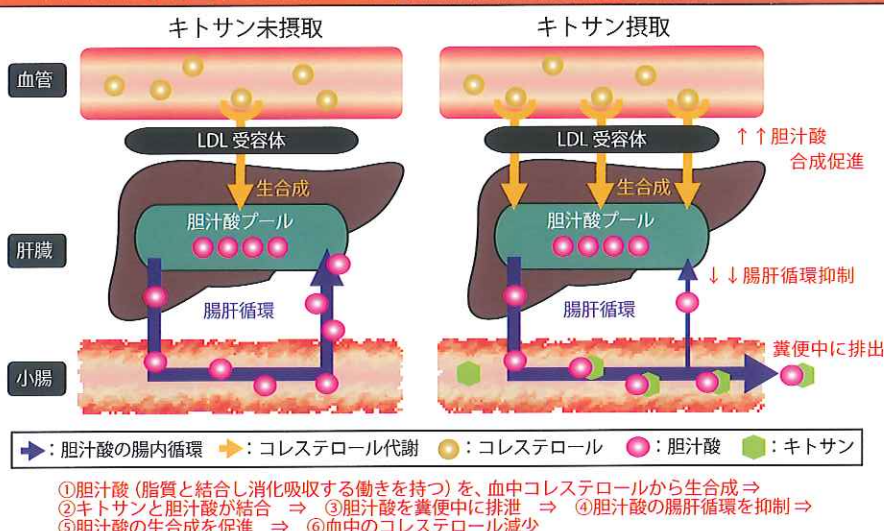
キトサンは、肥満被験者のインスリン感受性を改善する

キトサンのコレステロール低下作用

コレステロールに対する作用³⁾



キトサンによる血中コレステロール低下作用と胆汁酸合成促進作用のメカニズム



キトサンが胆汁酸と結合して糞便中に排泄されることにより、胆汁酸の腸肝循環が抑制され、体内の胆汁酸プールが減少する。その結果、血中コレステロールから胆汁酸の合成が促進され、血中コレステロールが減少すると考えられる。

・脂質と結合、吸収する働きを持つ胆汁酸は、近年、内臓脂肪を燃やし血糖値を下げる働きがあり、腸内の胆汁酸を胆汁酸吸着レジン(樹脂)に吸着させ、便と一緒に排泄することが効果的と報告されている(「胆汁酸ダイエット」)⁴⁾。
・キトサンは、コレステロール低下作用があり、そのメカニズムは、血中コレステロールから胆汁酸の合成亢進によるものと考えられる。これは、血糖改善が報告された胆汁酸吸着レジンと同じ性質である。キトサンは、単独でメタボリックシンドローム対策(脂質異常、高血圧、高血糖)に包括的に対応でき、「胆汁酸ダイエット」が期待できる素材と考えられる。

参考文献 1) Kato H. et al., J. Traditional Medicine, 11, 198-205 (1994).
3) Bokura H, Kobayashi S, Eur J Clin. Nutr., 2003, May;57(5):721-5.

2) Hernández-González SO et al., Nutr Res. 2010 Jun;30(6):392-5
4) Watanabe M., ANTI-AGING MEDICINE. 2013; 9(4):054-063.